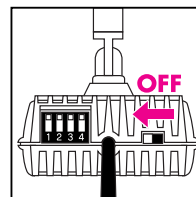


●フットブレーキ検出へ変更

- リモコンでエンジン始動後、シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かしてもエンジンが停止しない場合、又数秒で動作を停止し、再始動を行わない場合、あるいはメーターパネルが一瞬点灯して動作を停止し、警告音が鳴り続ける場合はフットブレーキ検出へ変更が必要です。(動作確認後、必要な場合のみ変更して下さい。)

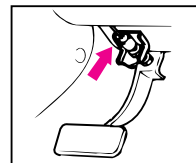
STEP-1 ●一旦アンテナユニットの電源スイッチを切ります。

L端子配線等を行った車両は、安全センサーケーブルが本体に接続されているので、一旦外して下さい。



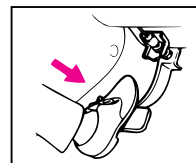
STEP-2 ●車両のフットブレーキスイッチを探します。

フットブレーキスイッチはブレーキアームの根元付近にあります。



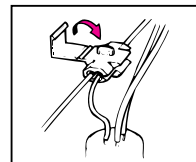
STEP-3 ●ブレーキペダルを踏んだ時に、約12Vの電圧が発生する線を見つけます。

フットブレーキスイッチから出ている線の内、ブレーキペダルを踏まない時は0V、踏んだ時に約12Vになる線を見つけて下さい。(必ずテスターをご使用下さい。)

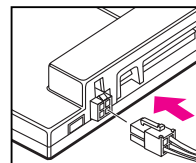


STEP-4 ●安全センサーケーブルの白色線を接続します。

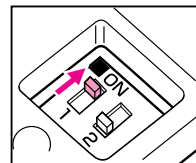
付属の安全センサーケーブルの白色線をSTEP-3で見つけた配線に付属のエレクトロタップで接続します。



STEP-5 ●安全センサーケーブルを本体に接続します。



STEP-6 ●モードスイッチの1番をONにします。



OK 以上でフットブレーキ検出への変更は終了です。

電源スイッチをONにしてリモコンでエンジン始動後、フットブレーキを踏んでエンジンが停止する事を確認して下さい。



フットブレーキとは、フット式パーキングブレーキの事ではありません。又、配線の接続先は、お車のストップランプを点灯させる為の線です。

⚠ 注意

接触不良がおきない様に確実に取り付けして下さい。